

海外安全対策情報（2013年1月～3月）

1 治安情勢および一般犯罪の傾向

ウガンダは周辺諸国と比べると、治安は比較的安定していると言われていません。しかし、日中はスリ・ひったくりなどの軽犯罪が横行し、夜間は強盗・強姦などの重犯罪が頻発しているのが実情であり、近年は銃器等を使用した犯罪が増加傾向にあります。更に、車両での移動時においても、車が減速・停止した機会を伺い、扉を開けて物品を強奪する犯行が頻発しています。このため、乗車時においては常にドアロックをするとともに窓は極力開けないよう対策を講じる必要があります。また、夜間は武装した強盗が車両を停止させて犯行におよぶ事件も発生していますので、夜間については不要不急の移動は避けるなどの対応が必要となります。その他、麻薬に係わる犯罪も増加傾向にあります（ウガンダにおいても麻薬は犯罪です）。このような状況を踏まえ、日常生活については常に注意と警戒が必要とされるとともに、現状に則した防犯対策を講じていく必要があります。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例・傾向

（1）強盗

ア 3月7日マインゴ県にて、武装した強盗がバスを停車させ、乗客の金品を強奪し逃走しました（\$ 2000万ならびに携帯電話45台の被害）。

イ 富裕層宅を狙った強盗が増加傾向にあります。

（2）殺人

ア ウガンダ人同士による土地問題を理由とした事件が依然として多く発生しています。

イ 警察官および軍人による銃犯罪が増加傾向にあります。

（3）強姦

未成年者が被害者となる事件が依然として多く、その中には父親から強姦を受ける事件も多々発生しています。

○なお、いずれの事件においても、日本人が被害にあったという報告はされていません。

3 テロ・爆発事件発生状況

該当期間中、テロ・爆発事件は発生していません。しかし、1月にウガンダ警察の報道官より、5名のテロリスト（アル・シャバブ）がウガンダへ入国したとの報道がされたことから、依然としてテロの脅威は高く警戒は必要です。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

該当期間中、誘拐・脅迫事件の発生情報はありません。

5 対日感情

良好です。

6 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は良好なため、現時点では日本企業であることを理由に問題となる情報はありません。

以上